

ヒキガエル

芝生広場のふちで雑草を抜いていたら、土の中からカエルが出てきました。体長（頭胴長）4センチほど。小さいくせにズングリムックリ。どうやらヒキガエルの子どものようです。ちょっと興奮してしまいました。



ヒキガエルに限らず、ヤマアカガエルやモリアオガエルなども、普段は森の中などで暮らしていて、めったにお目にかかれませんが、産卵期には水辺に集まり、さかんに鳴き交わすので、簡単に見つけることができます。ただし、集まってくるのは当然おとなだけ。未成熟の陸生ガエルに出会えるのは大変希少な体験で、ましてや数が少なくなったヒキガエルの若者ならば、感慨はひとしおなのであります。

さて、在来のカエルとしては最も大きくなるヒキガエルですが、変態時のサイズはと言えば、身近なカエルの中では、タゴガエルに次いで2番目の小ささです。つまり、オタマジヤクシの形ではあまり成長せず、さっさとちびガエルになってしまうのです。

才の埜の池では、ほぼ毎年春先に1～2組のヒキガエルが産卵しています。この時期だと、ちびのくせに足が生えた真っ黒オタマが泳いでいるかもしれません。